



# せいひ会だより

2016年(平成28年)  
5月1日発行  
<第193号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



桜の花がみごとに咲いた4月上旬。  
グループホームせいひの皆さんは、中山郷のコミュニティーセンター元亀(旧:元亀の里)までお花見に出かけました。天気は快晴、絶好の花見日和！外で食べるおやつもまた格別です。小規模多機能じゅげむの利用者の方々ともちょうど一緒になり、大人数で賑やかなひと時を過ごしました。

## 4月の行事

- 01日 年初式
- 02~05日 お花見(GH・風和・寿限無)
- 08日 花祭り(通所)
- 15日 運営推進会議(GH)



## 5月の行事予定

- 04~07日 菖蒲湯(各事業所)
- 08日 母の日(GH・風和・寿限無)
- 19日 運営推進会議(寿限無)

※5・6月に熊本へ職員旅行を予定しておりましたが、熊本地震のため今回は見送りいたしました。



### インフルエンザ等の感染予防について

インフルエンザの流行もピークは過ぎたようですが、地域によってはまだ流行がみられるところもあるようです。施設来苑時の手指消毒やマスク着用など、皆様方のご協力を引き続きよろしくお願い致します。

## ☆4月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



川添 敏子様



高尾 スマ子様



出口 ハス様



長下 安行様



原口 和代様



壇浦 リエ様



古賀 勝美様



山添 フミエ様



津本 吉治様



堀池 照子様



大川 千代子様



松尾 孝之様



南 アサヨ様



中原 勉様

バースディインタビュー



山道 金光様

今回は風和の里：山道金光様にお話を伺いました。

西海町瀬川にて4人兄弟で生まれ育つ。実家は農家で、米やみかんを作っていた。小さい頃は家の農業も手伝っており、田植えの時は束ねた苗を田んぼに置く作業を受け持っていたが、手伝いと言いながらもパンツ一丁で田んぼの中を走り回っていたそう。家の近くには川があったが、底には石がゴロゴロしていたため、潮が引いている時は泳げる川ではなかった。潮が上がリ、川の水が増えた時には泳いで遊んでいたそう。

20歳頃と同じ西海町出身の奥様と知り合い結婚、4人の子供に恵まれる。結婚後も、農業の傍ら土木作業員として朝から晩まで働いた。奥様とのことを伺うと、「かか(奥様)にやかましく言われる」と言いながらも、「でも仲はいいですよ？」の問いに照れながらも「うん」とうなずかれていた。現在は風和の里で生活されている。施設での生活の事を聞くと「何てなかけど、飯はわがうちの飯がうまか」とのこと。「もう歳やけん、なんてされんけんゆっくりしく。せかせかせんでよか～」と話されていた。

お誕生日おめでとうございます。



# Vitality Space

## バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

### うたの時間

水の流れに逆らうか  
初夏の風と歩むのか  
道は二筋  
君は一人  
やがて吹きくる青嵐  
たえて行けるか  
恋のいばら路

(通所) 竹下晶子



風和 嶋田トエ



じゅげむ 久保忠次

こいのぼり  
親子三匹  
元気がいい

(風和) 中島マツ

冬が過ぎ  
春ともなれば  
樹木の先に  
かわい新芽

(風和) 立石ミドリ



通所 秋浦克敏



通所 宮本榮二郎

夕映えに  
遠吠えのして  
帰路急ぐ

(風和) 作中和子

春が来て  
若葉の季節  
野山かな

(風和) 平野マサ



通所 壇浦リエ



通所 山脇良人

## 花祭り



4/8、お釈迦様の誕生日を祝う「花祭り」のため、白崎郷・妙経寺へ行ってきた通所の皆さん。由来などが書かれたしおりやお賽銭、甘茶を汲むためのペットボトルを手にして、お参りしてきました。この日を楽しみにしていた皆さんの願いも通じ、お天気にも恵まれた、いいドライ



## 桜、満開!

見頃の桜を眺めに、各事業所でお花見に出かけてきました。どこの桜も見事に満開です!



寿限無

琴海村松町  
やすらぎの小径にて



風和

西彼・白崎郷  
四本堂公園にて



じゅげむ

西彼・中山郷  
コミュニティセンター元亀  
(旧・元亀の里)にて

## 年初式



4/1、シニアヴィレッジ横の『すりきず広場』にて法人全体の年初式を行いました。今年は趣向を変えて、キャンプファイヤーを囲みながらのバーベキューという企画にしてみました。

職員たち自ら、丸太を組んだりブロックを積んだり、日頃慣れない作業もありましたが、汗水たらしてこそお肉がより美味しくなるというものです(笑) 本年度も職員一丸となって頑張っていきますので、よろしくお願いします!

ずいずい  
随・随

## ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。初回は、総務部・小西さんです。

4月14日の夜9時半頃、少し遅めの晩ご飯を済ませてお風呂に入ろうとしていた矢先のこと。これまで聞いたことの無い様な、けたたましい携帯電話の音に、一瞬何が起きたのか分からず立ちすくんだのもつかの間、直後の激しい揺れに『地震だっ!』と認識しました。すぐさま同僚たちと連絡を取り合い、施設の人たちの無事を確認しました。

その後も続く余震に不安を覚えつつ、ニュースで見る大分・熊本の被害の影響を目の当たりにして、心苦しさは日増しに大きくなるばかりです。大自然の猛威の前で、自分に何が出来るのだろうかと考えていても中々すぐに答えは見つからず、只々時間だけが過ぎていく様に感じてしまいました。

そんな中、熊本県内外の病院や老健施設での避難者の受け入れや介護スタッフの派遣など、こういう時こそ

協力して支え合おうという全国的な動きがあり、支援の輪が広がっています。

せいひ会でも現在、西海市にある企業の南阿蘇事業所からの引き上げによる施設への受け入れが決まっていますが、現地の住民の多くは被災していても仕事や生活があるため離れられない現状があるという事を聞きました。最初の地震から2週間が過ぎ、こちらは元の生活に戻っていますが被災地では今なお3万人以上の方々が避難生活を余儀なくされています。これから少しずつ復興へ向かうとは思いますが、被災者の方々が1日でも早く安心して暮らせるように願っています。最後に、この度の地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。